

みずほCustomer Desk Report 2022/12/15号(As of 2022/12/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

| | USD/JPY | EUR/USD | EUR/JPY | 公示仲値 GBP/USD | 135.59 AUD/USD |
|-------------|---------|---------|---------|-----------------|-------------------|
| TKY 9:00AM | 135.60 | 1.0627 | 144.06 | 1.2355 | 0.6842 |
| SYD-NY High | 135.99 | 1.0695 | 144.71 | 1.2446 | 0.6881 |
| SYD-NY Low | 134.53 | 1.0619 | 143.50 | 1.2345 | 0.6812 |
| NY 5:00 PM | 135.48 | 1.0683 | 144.68 | 1.2428 | 0.6864 |

| | 終値 | (前日比) | | 終値 | (前日比) |
|----------|-----------|----------|----------------|----------|---------------|
| NY DOW | 33,966.35 | ▲ 142.29 | 日本2年債 | ▲0.0200% | 0.0000% |
| NASDAQ | 11,170.89 | ▲ 85.93 | 日本10年債 | 0.2500% | 0.0000% |
| S&P | 3,995.32 | ▲ 24.33 | 米国2年債 | 4.2137% | 0.0017% |
| 日経平均 | 28,156.21 | 201.36 | 米国5年債 | 3.6145% | ▲0.0303% |
| TOPIX | 1,977.42 | 11.74 | 米国10年債 | 3.4774% | ▲0.0230% |
| シカゴ日経先物 | 27,925.00 | ▲ 75.00 | 独10年債 | 1.9350% | 0.0300% |
| ロンドンFT | 7,495.93 | ▲ 6.96 | 英10年債 | 3.3090% | 0.0160% |
| DAX | 14,460.20 | ▲ 37.69 | 豪10年債 | 3.3560% | ▲0.0480% |
| ハンセン指数 | 19,673.45 | 77.25 | USDJPY 1M Vol | 10.30% | ▲1.02% |
| 上海総合 | 3,176.53 | 0.20 | USDJPY 3M Vol | 10.33% | ▲0.50% |
| NY金 | 1,818.70 | ▲ 6.80 | USDJPY 6M Vol | 9.98% | ▲0.55% |
| WTI | 77.28 | 1.89 | USDJPY 1M 25RR | ▲0.80% | Yen Call Over |
| CRB指数 | 276.63 | 1.60 | EURJPY 3M Vol | 9.69% | ▲0.45% |
| ドルインデックス | 103.77 | ▲ 0.21 | EURJPY 6M Vol | 9.78% | ▲0.43% |

| | |
|--------|--|
| 東京 | 東京時間のドル円は135.60レベルでオープン。前日発表された米11月CPIの軟調な結果を受け上値の重い推移が継続し、米長期金利の小幅な低下を受けて135円台前半に下落。海外時間にFOMCを控える中で値幅は限定的となり、135.47レベルで海外に渡った。 |
| ロンドン | ロンドン市場のドル円は、135.47レベルでオープン。日銀が新体制で来年中にも金融政策の点検・検証を行う可能性があるという同銀行の関係者による報道を受けて、一時134.53まで急落。その後、ドルの押し目買いが入り135円台まで回復し、135.02レベルでNYに渡った。 |
| ニューヨーク | 海外市場のドル円は135円台半ばでスタートし、前日の米11月CPIの結果を受けて上値重く推移。早朝に一部報道から日銀が来年に金融政策の点検・検証が実施される可能性があるという報道を受け、一時134.53まで急落するも、すぐに135円ちょうど付近まで買い戻され、135.02レベルでNYオープン。朝方は14時のFOMCを控え、様子見ムードが強まる中、135円を挟んだ狭いレンジで推移。午後は注目のFOMCでは予想通り50bpsの利上げとなったが、来年の政策金利見通しが5%超となったことや、来年も更なる利上げを示唆しており、効率的姿勢が示されると米金利の上昇とともにドル買いで反応し、135.99まで急伸。その後のパウエルFRB議長の記者会見でも「インフレが2%に向かう確信を得られるまで利下げはない」等の効派色の強い発言が伝わるも、米金利が反転し低下すると、ドル買いも巻き戻され、一時134円台後半まで反落。終盤は買い戻し優勢となり、結局、135.48レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.06台前半でスタート。前日の米CPIを背景でドル売りが出やすい中、1.0672まで上昇するも、FOMC前でレンジ切り上げには至らず、前日高値(1.0673)の手前で反落。ドル売り一巡後、1.0645レベルでNYオープン。朝方はFOMC待ちで1.06台半ばでレンジトレード。FOMC発表後のドル買いを受けて1.0620まで下落するが、その後は米金利の低下を受けて1.0695まで反発。明日にECB理事会を控える中、積極的なユーロ売りが手控えられており、結局、1.0683レベルでクローズ。 |

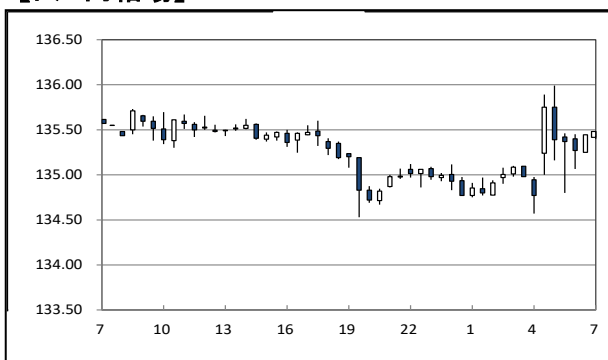
【昨日の指標等】

| Date | Time | Event | 結果 | 予想 |
|--------|-------|------------------|-----------------------|------------|
| 12月14日 | 16:00 | 英 CPI(前月比/前年比) | 11月 0.4%/10.7% | 0.6%/10.9% |
| | 16:00 | 英 CPIコア(前年比) | 11月 6.3% | 6.5% |
| 12月15日 | 04:00 | 米 FOMC政策金利 | 14-Dec 4.25%/4.5% | 4.25%/4.5% |
| | 04:30 | 米 パウエルFRB議長 記者会見 | まだ十分に景気抑制的な政策スタンスではない | |

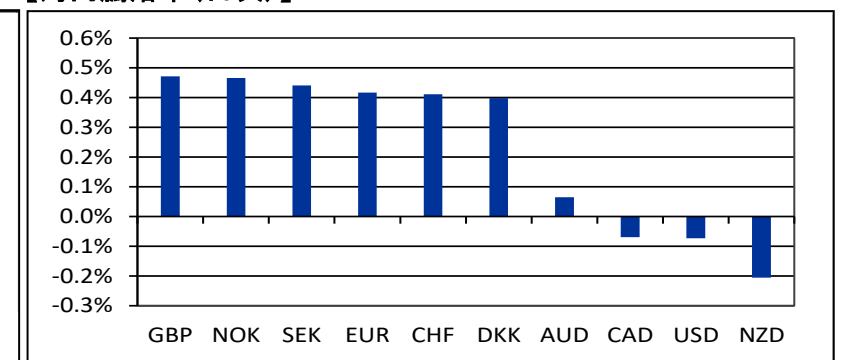
【本日の予定】

| Date | Time | Event | 予想 | 前回 |
|--------|-------|-------------------|-------------|-------|
| 12月15日 | 11:00 | 中 鉱工業生産(前年比) | 11月 3.5% | 5.0% |
| | 11:00 | 中 小売売上高(前年比) | 11月 -4.0% | -0.5% |
| | 22:15 | 欧 ECB主要政策金利 | 15-Dec 2.5% | 2.0% |
| | 22:15 | 欧 ECB預金ファシリティ・レート | 15-Dec 2.0% | 1.5% |
| | 22:30 | 米 NY連銀製造業景気指数 | 12月 -1.0 | 4.5 |
| | 22:30 | 米 小売売上高速報(前月比) | 11月 -0.2% | 1.3% |
| | 22:30 | 米 小売売上高(除自動車/前月比) | 11月 0.1% | 1.3% |
| | 22:30 | 米 新規失業保険申請件数 | 10-Dec 232k | 230k |
| | 22:30 | 米 フィラデルフィア連銀景況 | 12月 -10.0 | -19.4 |

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

| 通貨ペア | USD/JPY | EUR/USD | EUR/JPY |
|-------|---------------|---------------|---------------|
| 想定レンジ | 134.00-136.50 | 1.0600-1.0750 | 142.00-146.50 |

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は上下に行ってこいの展開。FOMCを控えて日中は小動きとなったが、海外時間に入り日銀のヘッドラインで一時135円割れに。その後、FOMCを挟み上下したものの、結局は135円台まで戻って引けた。尚、FOMCについては市場予想通り50bpsの利上げを決定。声明文は前回から特段大きな変更はなかった。金利見通しについては、9月時点から上方修正され、利上げペースは減速させたものの利上げ終了には遠いことを示した。また記者会見では、現在の政策金利の水準は「まだ十分に景気抑制的ではない」と述べ、利上げを続ける意向を念押しした。

本日のドル円は同レンジ内での軟調推移を予想。FOMCは概ね予想通りの結果となり、ドル円は発表直後にこそ上下にぶれたものの、結局135円台半ばまで戻った。本日はBOE、ECB、米小売売上高と引き続き重要な発表を控えているのに加え、海外機関投資家はクリスマス休暇を控えて大きく動くとは考えにくく、相場は様子見姿勢が続くものと予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 原田・逸見